

2026年3月期 決算および経営計画説明会

— FY2030に向けた経営計画の再策定 —

栄研化学株式会社（証券コード：4549）

2026年5月12日

現執行体制でEIKEN ROAD MAP 2030・中計を見直し
「**経営計画2030**」として再策定
(FY2026-FY2030)

02 目標達成への**誠実な実行とコミット**

- 2025年発足の現執行体制で計画の未達という事実を真摯に受け止め、原因を徹底的に分析しました
- 栄研化学の目指す姿「EIKEN Vision 2030」に向け、達成への道筋を再策定しました
- ROIC経営を徹底し、資本効率と収益力の向上を図ります



代表執行役社長
(CEO兼COO)
瀬川 雄司



専務執行役
研究開発本部長(CTO)
森 安義



常務執行役
生産本部長(CPO)
土居 通寿



営業本部長
(CMSO)
土谷 敏之



経営管理本部長
(CFO兼CHRO)
工藤 知博



内部監査室長
古橋 弘康



営業本部
海外営業統括部長
吉田 佳一郎



営業本部
国内営業統括部長
赤石 聡



生産本部
野木工場長
渡邊 勝紀



研究開発本部
生物化学研究所長
富田 憲弘

1. 2026年3月期 決算概要
2. 2027年3月期 通期業績予想
3. 経営計画2030

2026年3月期 決算概要

2026年3月期 通期業績

金額単位：百万円	25年3月期 実績	26年3月期 実績	前年比		26年3月期	
			増減額	増減率(%)	通期予想	達成率(%)
売上高	40,539	41,899	1,359	3.4	42,200	99.3
売上原価	24,027	25,723	1,696	7.1	25,150	102.3
売上総利益	16,512	16,175	△337	△2.0	17,050	94.9
販売費及び一般管理費	13,512	13,255	△256	△1.9	13,800	96.1
営業利益	2,999	2,919	△80	△2.7	3,250	89.8
経常利益	3,198	2,844	△354	△11.1	3,100	91.7
当期純利益	2,228	3,708	1,480	66.5	3,770	98.4

- 便潜血、医療機器が伸長
- USAID廃止による遺伝子関連と器具関連の発売中止によるマイナス影響

- 売上原価率上昇
- 稼働力の強化策効果の遅れ

- 効率的な経費の使用

- 連結子会社の持分譲渡益を第2四半期に約20億円計上済

▶ **前年比で増収増益**、予想に対しては未達

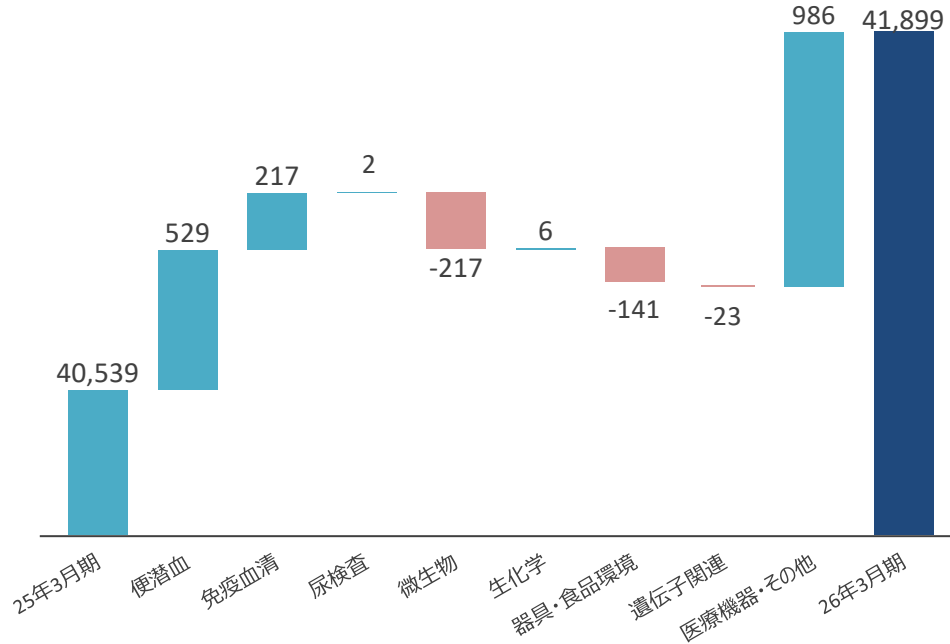
売上高：主に海外向けの便潜血検査用試薬、および医療機器が大幅に伸長したことにより増収
 利益：売上構成の変化により営業利益は減少したが、連結子会社の持分譲渡益が寄与し
 当期純利益は増益

	25年3月期 実績	26年3月期 実績	26年3月期 予想
研究開発費	4,386	3,676	4,040
設備投資	7,699	3,817	4,240
減価償却費	2,554	2,528	2,780

セグメント別売上高

金額単位：百万円

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



金額単位：百万円

	25年3月期実績	26年3月期実績	前年比		26年3月期	
			増減額	増減率(%)	通期予想	達成率(%)
便潜血	12,941	13,470	529	4.1	13,640	98.8
免疫血清 (便潜血を除く)	9,599	9,816	217	2.3	9,680	101.4
尿検査	4,620	4,623	2	0.1	4,740	97.5
微生物	4,501	4,284	△217	△4.8	4,900	87.4
生化学	573	579	6	1.1	610	94.9
器具・食品環境	1,960	1,818	△141	△7.2	1,860	97.7
遺伝子関連	1,980	1,957	△23	△1.2	2,440	80.2
医療機器・その他	4,362	5,348	986	22.6	4,330	123.5
合計	40,539	41,899	1,359	3.4	42,200	99.3

- 便潜血 : 国内外で増収。主に海外向け売上が伸長
- 微生物 : POCT製品、薬剤感受性検査用試薬が減収
- 器具・食品環境 : 検査器具の不採算品の発売中止により減収
- 遺伝子関連 : 一時的な特許料収入があったが、USAID閉鎖による影響を受け、ナイジェリア向けの結核検査薬 (TB-LAMP) の売上が減少
- 医療機器 : 尿検査用装置、便潜血検査用装置、免疫血清検査用装置 (東ソー(株)から導入・販売) が増収

地域別売上高

金額単位：百万円

	25年3月期 実績	26年3月期 実績	前年比		26年3月期	
			増減額	増減率(%)	通期予想	達成率(%)
国内	29,829	30,442	612	2.1	30,150	101.0
海外	10,710	11,457	746	7.0	12,050	95.1
海外売上高比率	26.4%	27.3%	-	-	-	-
合計	40,539	41,899	1,359	3.4	42,200	99.3
米州	2,430	2,516	86	3.6	2,530	99.4
EMEA	4,282	4,774	491	11.5	5,260	90.8
APAC	3,997	4,165	168	4.2	4,260	97.8

■ 国内

- 東ソー(株)から導入・販売している免疫血清検査用試薬・装置、尿検査用装置等、検査用装置の売上が増加

■ 米州

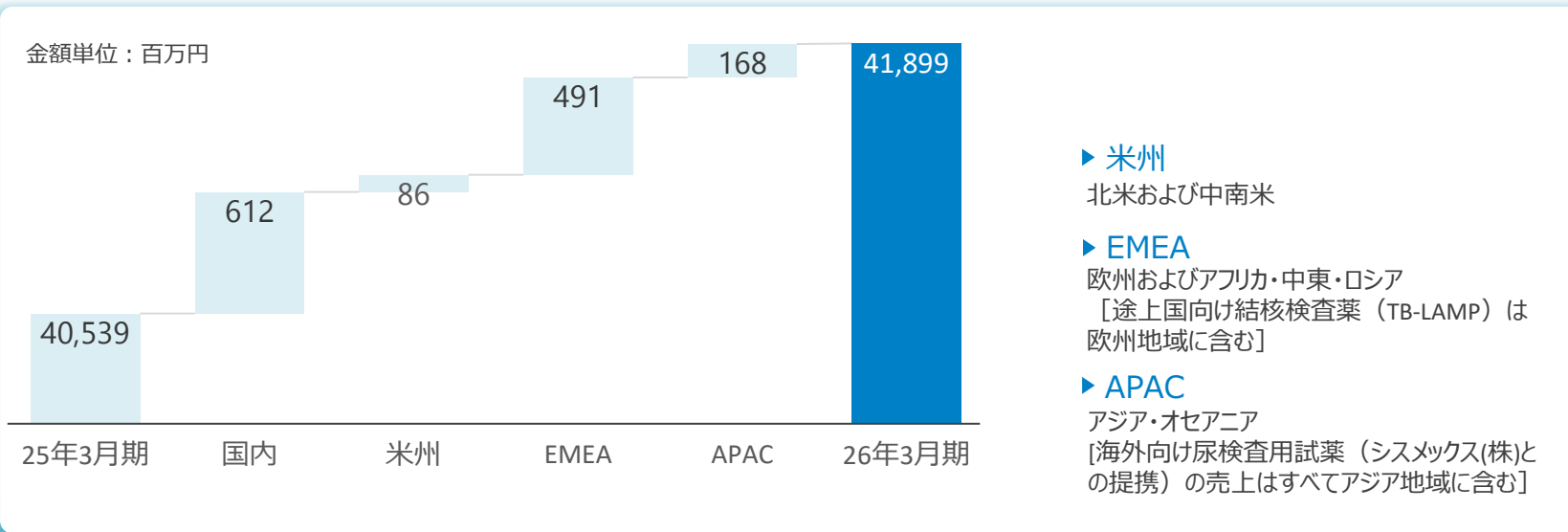
- 装置切替タイミング等による一時的な出荷減があったが、便潜血検査の対象年齢拡大、内視鏡トリアージ、化学法から免疫法へのシフトによる需要増加の流れは継続

■ EMEA

- 便潜血検査用試薬・装置が伸長
- イングランド：出荷方法変更による一時的な在庫調整もあり増加
- イタリア：対象年齢拡大による増加
- イスラエル：中東情勢の影響により減少
- 南アフリカ：大手検査センター獲得により増加
- USAID閉鎖の影響によりTB-LAMPの販売が減少

■ APAC

- 便潜血検査用試薬が伸長
- 韓国：前期医師ストライキ影響から回復
- 海外向け尿検査用試薬は減収、同装置は増加



2027年3月期 通期業績予想

通期連結業績予想

金額単位：百万円

	26年3月期 実績		27年3月期 予想		前年比	
		構成比率(%)		構成比率(%)		増減率(%)
売上高	41,899	100.0	42,000	100.0	100	0.2
国内	30,442	72.7	30,210	71.9	△232	△0.8
海外	11,457	27.3	11,790	28.1	333	2.9
売上原価	25,723	61.4	25,650	61.1	△73	△0.3
売上総利益	16,175	38.6	16,350	38.9	174	1.1
販売費及び一般管理費	13,255	31.6	13,280	31.6	24	0.2
営業利益	2,919	7.0	3,070	7.3	150	5.2
経常利益	2,844	6.8	2,900	6.9	55	2.0
当期純利益	3,708	8.9	2,070	4.9	△1,638	△44.2

研究開発費：3,600、設備投資：2,318、減価償却費：2,654（百万円）

【株主還元】 1株あたり配当：58円

セグメント別予想

金額単位：百万円

	26年3月期 実績		27年3月期 予想		前年比	
	金額	構成比率(%)	金額	構成比率(%)	金額	増減率(%)
便潜血	13,470	32.1	14,220	33.9	749	5.6
免疫血清（便潜血を除く）	9,816	23.4	10,000	23.8	183	1.9
尿検査	4,623	11.0	4,650	11.1	26	0.6
微生物	4,284	10.2	4,580	10.9	295	6.9
生化学	579	1.4	640	1.5	60	10.4
器具・食品環境	1,818	4.3	1,620	3.9	△198	△10.9
遺伝子関連	1,957	4.7	1,680	4.0	△277	△14.2
医療機器・その他	5,348	12.8	4,610	11.0	△738	△13.8
合計	41,899	100.0	42,000	100.0	100	0.2

経営計画2030

(FY2026-FY2030)

※ FY (Fiscal Year) は当社定義の事業年度であり、FY2030は2031年3月期に相当

はじめに：現執行体制で何が変わったのか

現執行体制は、この9か月で「計画をやり切る経営」へと舵を切った

現執行体制下での成果（FY2025）

意思決定

- ✓ 判断スピードの向上
- ✓ 権限委譲・判断プロセス刷新

資源配分

- ✓ 主力・収益・育成製品群へ集中
- ✓ ROICを軸とした評価・判断

実行

- ✓ ポートフォリオ整理を実行フェーズへ
- ✓ ROIC経営の進捗管理徹底

組織・風土改革

- ✓ 社長キャラバン/交流イベントの実施
- ✓ 人事制度見直しによる人財活性

市場・ブランドへの打ち手

- ✓ 外部情報発信を強化
- ✓ ブランディング施策を本格展開

- 増収・増益で着地、対予算も99.3%とほぼインライン
- 国内：主力製品を中心に前年比で増収となり、予算を上回る101.0%達成
- 海外：USAID閉鎖の影響はあったものの、予算達成率95.1%

経営計画2030の位置づけ



経営理念

EIKEN WAY

経営理念
ビジョン

ヘルスケアを通じて人々の健康を守ります
検査のパイオニアとしてお客様に信頼される
製品・サービスを提供し、企業価値の向上を図ります
品質で信頼され、技術で発展する“EIKEN”

モットー

目指す姿

EIKEN Vision 2030

目指す姿に向けた道筋

経営計画2030 (FY2026-FY2030) – 現執行体制による計画の再策定 –

年度目標

Point

- ✓ FY2030に目指す事業領域・戦略の方向性は変更なし
- ✓ EIKEN ROAD MAP 2030 / 第2次中期経営計画 (FY2025-FY2027) ⇒ 経営計画2030として再策定
- ✓ 今後は年度目標を確実にやり切り、每期計画を精査する方針

FY2030に目指す事業領域・戦略の方向性は変更なし

EIKEN Vision 2030

事業戦略

サステナビリティ戦略

がん

がんの予防・
治療への貢献

感染症

感染症撲滅・
感染制御への貢献

ヘルスケア

ヘルスケアに役立つ製品・
サービスの提供

サステナビリティ

地球環境と調和した
事業活動

人財

人を活かした
活力ある企業

経営理念 / 取り巻く環境 / サステナビリティ経営

経営計画再策定の背景

外部要因

↑↑ COST 地政学リスク等を背景とした**コスト上昇**
(原材料価格・物流費)

国内医療保険制度（保険点数）による
インフレ局面においても**価格転嫁が困難**な環境

USAID予算凍結による
海外結核検査の**需要減少**

内部要因

領域	未達の根本要因
市場・販売	国内：クリニック市場の競争環境下、営業体制・販売力に拡張余地
	海外：代理店依存構造 + 製品競争力/マーケティング力に改善余地
製品開発	<ul style="list-style-type: none"> 製品開発マネジメント力 研究開発主導型の慣習的体制
生産	<ul style="list-style-type: none"> 生産拠点の分散による非効率稼働 自動化に向けた工場刷新の推進途上
成長投資	<ul style="list-style-type: none"> 投資評価・投資判断の基準 新規投資・M&A体制不備



施策
<ul style="list-style-type: none"> クリニック市場に強い企業とのアライアンス 施設規模別の営業専任化
<ul style="list-style-type: none"> 海外販売代理店との戦略的パートナーシップの強化 当社の強みを最大化した製品展開（FIT+など）
<ul style="list-style-type: none"> KPIの明確化、リスク管理の徹底、リソース配分最適化 マーケットインの開発プロセス定着 ROI明確化に基づく製品開発判断と戦略投資
<ul style="list-style-type: none"> 生産拠点の統合・整理・効率化 工程改善および自動化による生産技術体制の拡充と基盤強化
<ul style="list-style-type: none"> 資本効率指標に基づく投資評価・投資判断の徹底 成長投資・M&A推進体制の整備

財務KPI

旧 経営計画
(EIKEN ROADMAP 2030)

	FY2030
売上高	600億円 新規事業・非連続成長による 数字を含み750億円
海外売上高比率	40%以上
営業利益	150億円
営業利益率	20%
ROE	15%以上
ROIC	—



経営計画2030 (FY2026–FY2030)

	FY2030
売上高	500億円以上 新規事業・非連続成長 による数字を 除く
海外売上高比率	35%以上
営業利益	70億円以上
営業利益率	14%以上
ROE	10%以上
ROIC	10%以上



持続的な成長と収益性の向上

国内事業の収益力強化

ROIC改善の土台

- 高収益品の拡販
- 低収益製品群の整理
- 収益性・成長性の高いテーマへ研究開発投資を集中

海外事業の成長加速

連続成長の中核

- FITの活用による市場開拓
- 免疫血清試薬
 - ・動物検査市場への販促強化
 - ・新製品投入による新市場の開拓

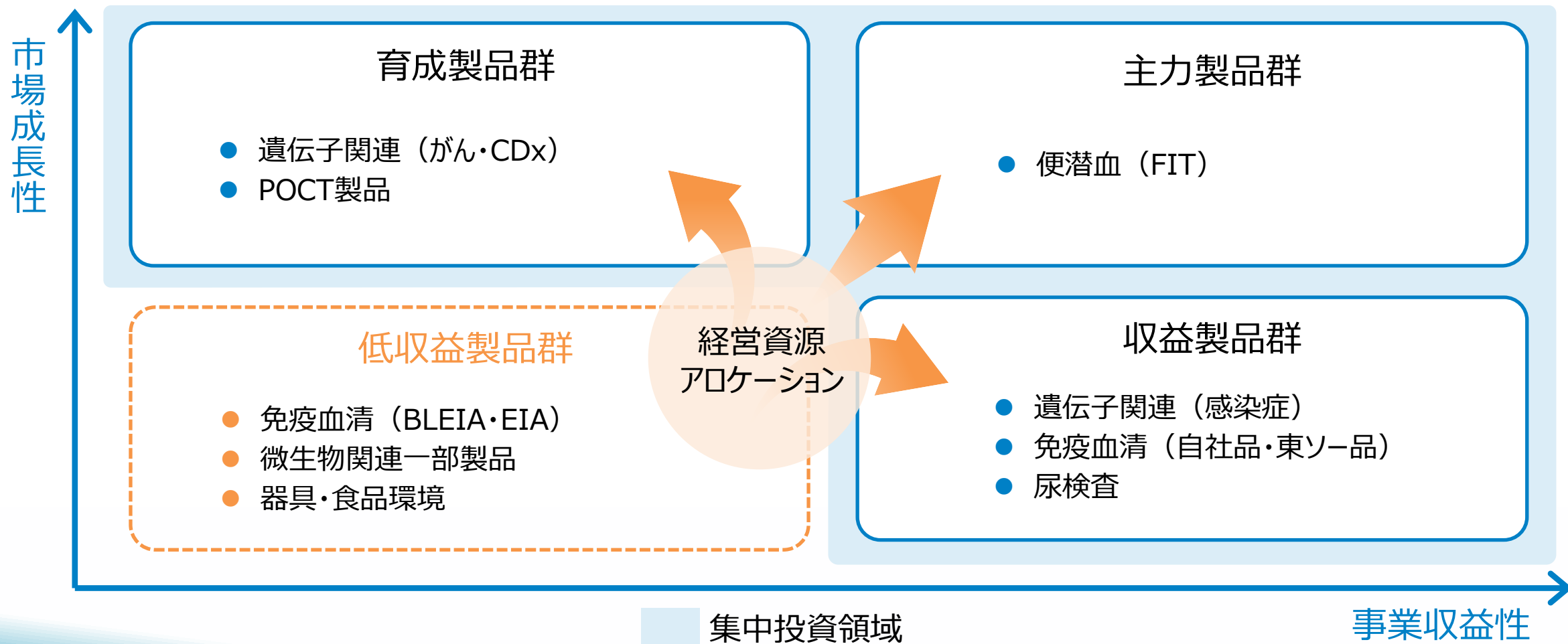
アライアンス・M&Aによる 非連続成長

事業ポートフォリオの進化

- 非連続成長要素
 - ・販路拡大
 - ・高精度技術獲得
 - ・測定装置開発製造に注力

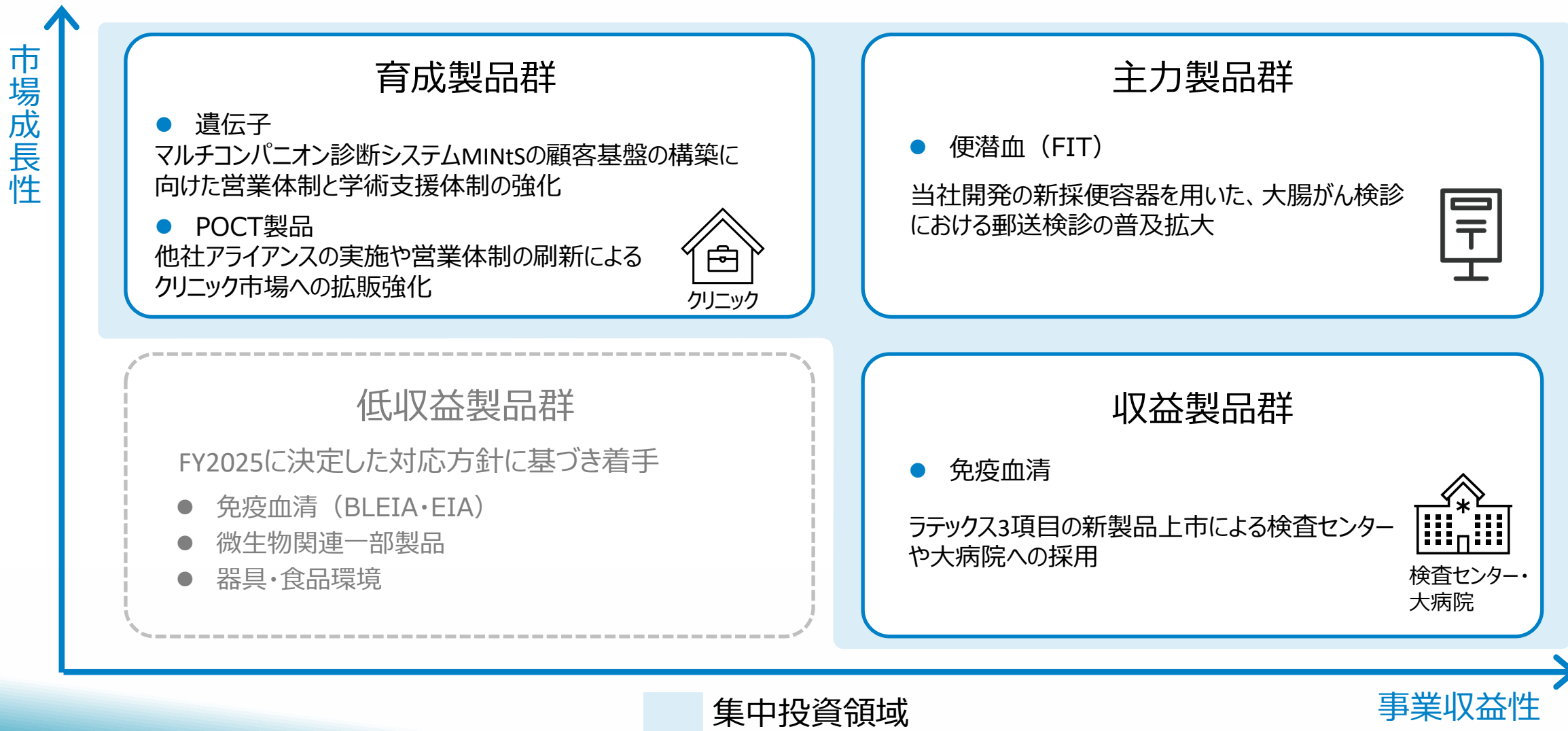
製品ポートフォリオ整理

低収益製品群への対応方針をFY2025に決定し、着手



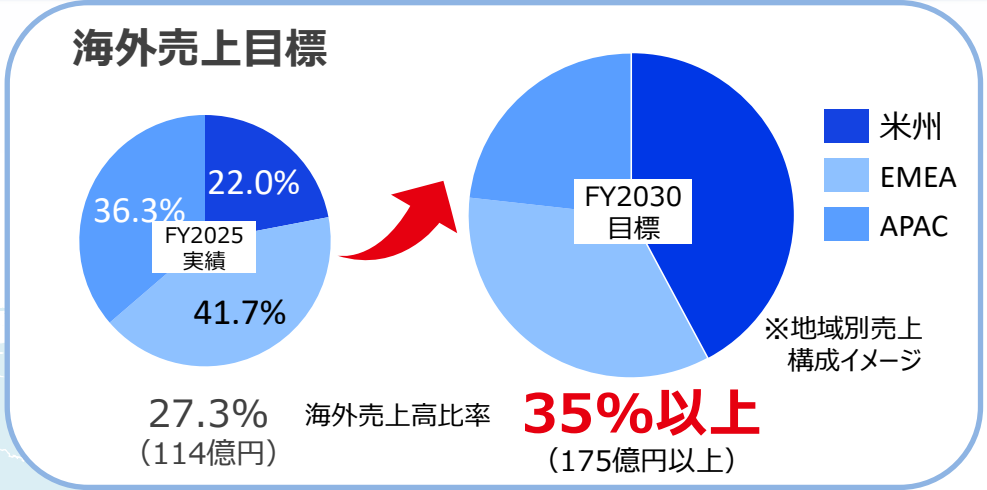
国内事業の収益力強化

主力製品群・育成製品群・収益製品群に経営資源を集中させ収益力を強化



海外事業の成長加速

経営計画2030の海外成長は米州が牽引



EIKEN Medical America

米州

売上・利益成長の中心

- 薬事戦略によるFITの**価格体系見直し**
- 南米へのFITの展開継続
- 動物用免疫血清試薬の北米市場開拓と販路確保等の事業基盤確立

米州：北米および中南米

欧州支店

EMEA

着実な拡大

- 欧州主要周辺国、中東、バルカン諸国のFIT市場開拓
- 結核巡回検診によるアフリカ市場の拡大
- 動物用免疫血清試薬の販売力強化

EMEA：欧州およびアフリカ・中東・ロシア
[途上国向け結核検査薬 (TB-LAMP) は欧州地域に含む]

栄研医薬

APAC

基盤整備

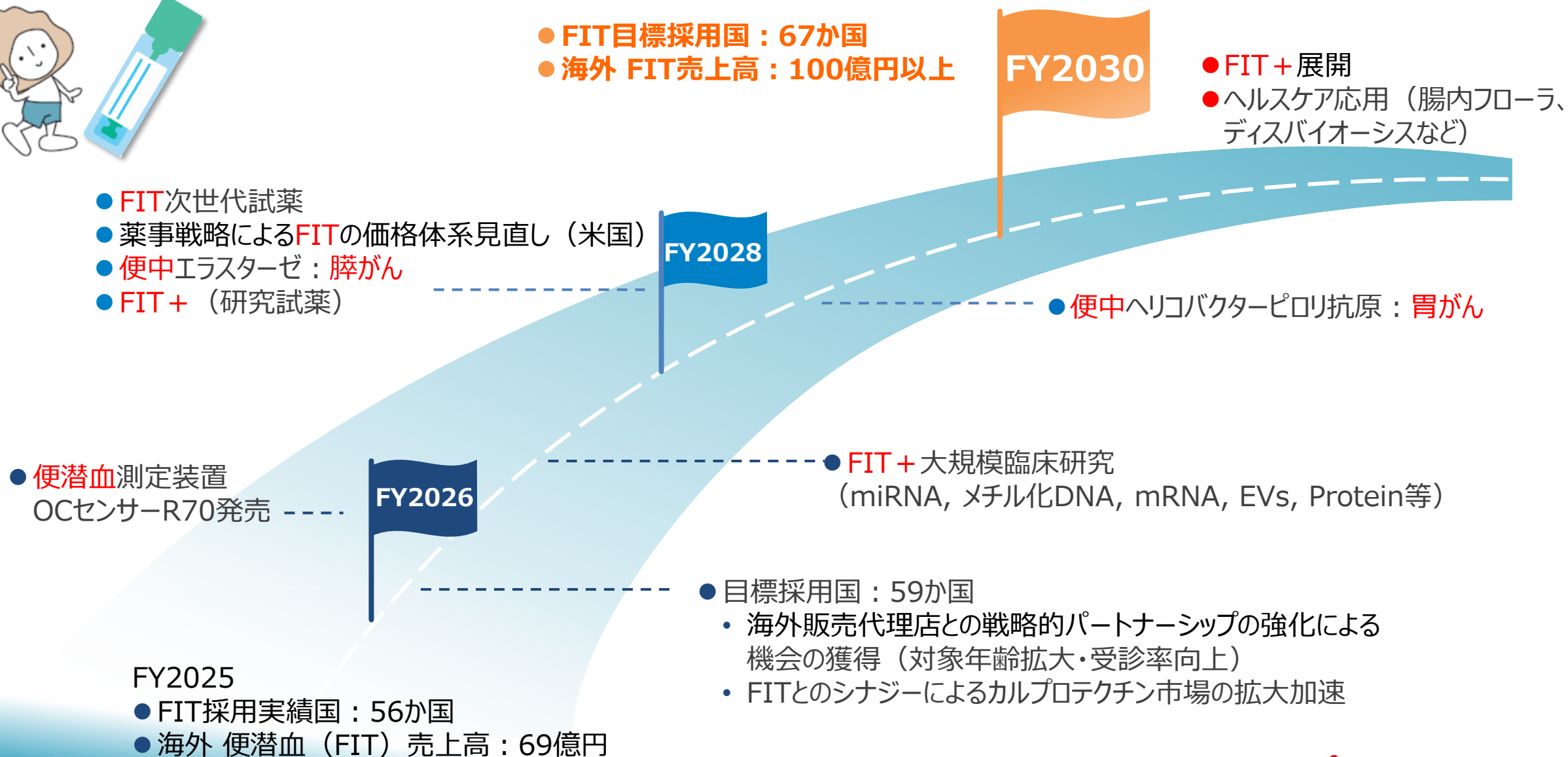
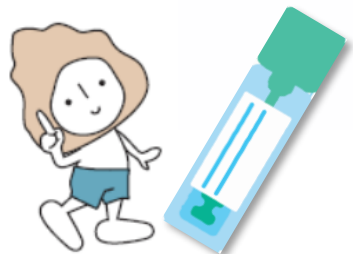
- 中国
 - 中国市場における市場ニーズの調査収集
- 東南アジア
 - 駐在事務所の設立検討
 - 現地KOLとの関係構築
 - 現地代理店と協業し市場開拓

APAC：アジア・オセアニア
[海外向け尿検査用試薬 (シスメックス(株)との提携) の売上はすべてアジア地域に含む]

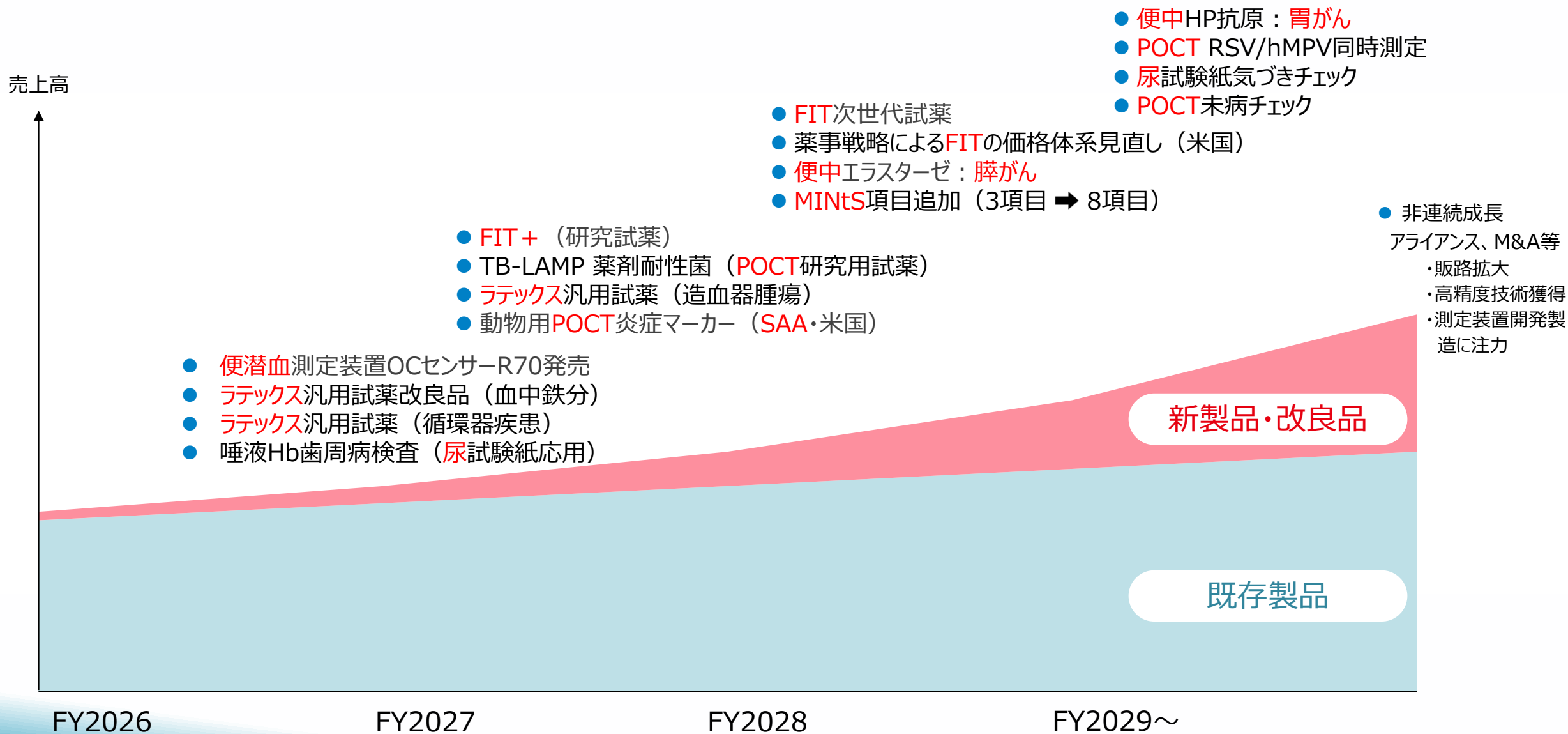
開発パイプライン – 開発フェーズ別一覽 –

	原理確認	要求仕様定義 基本設計	設計・開発・試作 検証・バリデーション	申請
がん		FIT 次世代試薬		新型便潜血測定装置R70
	FIT+ (タンパクマーカー等)	FIT+ (核酸マーカー)		
	便中ヘリコバクターピロリ抗原： 胃がん	MINTs：大腸がん	MINTs：肺がん遺伝子追加 (3⇒8項目)	
	便中エラスターゼ ：膵がん		ラテックス汎用試薬 造血器腫瘍	ラテックス汎用試薬 悪性腫瘍・血中鉄分
感染症		POCT呼吸器感染症 RSV/hMPV同時測定		
	TB-LAMP 検体種拡大	POCT性感染症	TB-LAMP 薬剤耐性菌 (POCT研究用試薬)	
ヘルスケア・他		ラテックス汎用試薬 認知症リスク診断	ラテックス汎用試薬 循環器疾患	ラテックス汎用試薬 貧血・血中鉄分
	採便容器による ディスプレイ測定等	動物用POCT (米国) 炎症マーカー (SAA)		
	POCT未病チェック			
	尿試験紙気づきチェック	うつ傾向リスクチェック		唾液Hb歯周病検査 (尿試験紙応用)
	ヘルスケアアプリケーションプラットフォーム			

採便容器をコアとしたビジネス展開（FIT/FIT+～消化器がん～ヘルスケア）

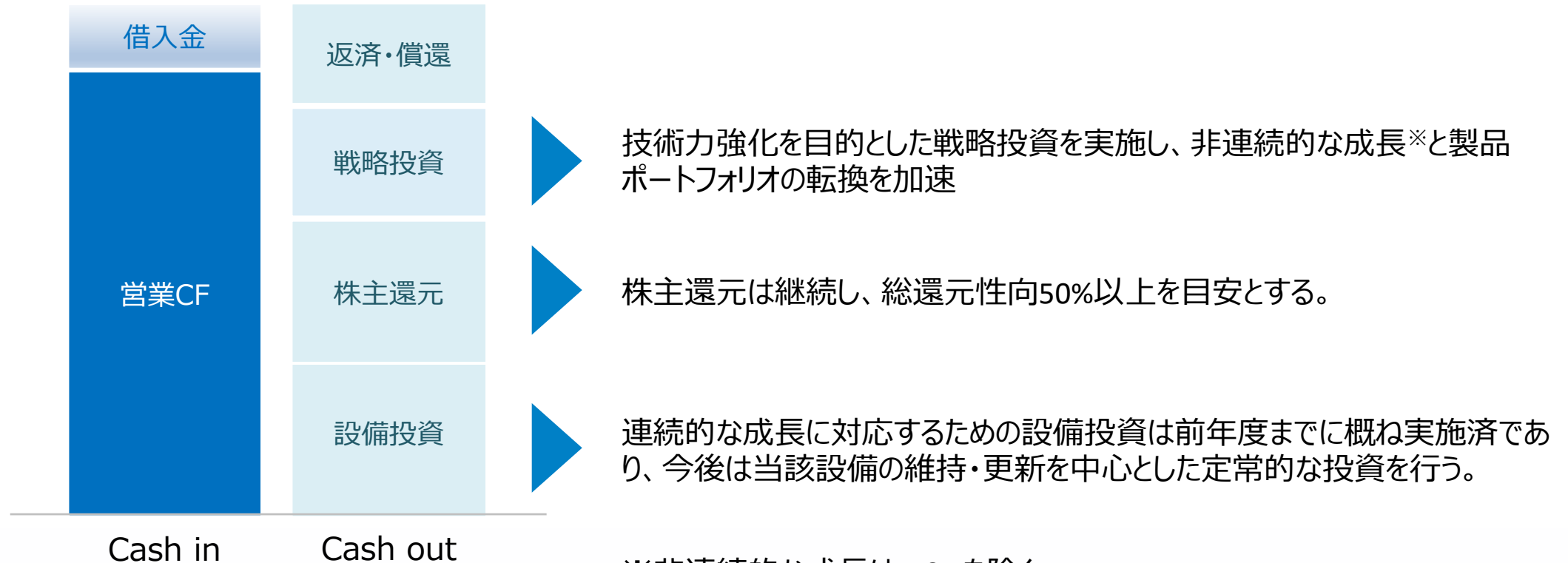


「EIKEN Vision2030」の実現に向けた発売目標と売上収益イメージ図



資本政策（キャッシュフロー）

FY2026からFY2030累計



※非連続的な成長はM&Aを除く

ROICツリー



経営計画2030における財務KPIの到達水準

	FY2030
売上高	500億円以上 新規事業・非連続成長による数字を除く
海外売上高比率	35%以上
営業利益	70億円以上
営業利益率	14%以上
ROE	10%以上
ROIC	10%以上

サステナビリティ戦略の推進 -マテリアリティKPIの進捗-

FY2030の目標に向かい、マテリアリティKPIの達成により、社会課題解決への貢献と当社の持続的成長を実現する

【評価の基準】◎：目標以上達成、○：目標達成

マテリアリティ (重要課題)		方策	主なKPI	実績 (FY2025)	現状評価	長期目標 (FY2030)
医療	医療へのアクセス向上	○開発途上国への製品供給	製品展開国数	10カ国	○	18カ国
	医療課題の解決	○グローバルでの医療課題の解決 ○先進技術開発とイノベーションの推進	大腸がんスクリーニング検査の展開国数	56カ国	○	67カ国
	品質の追求と持続可能なサプライチェーン	○品質プロアクティブ活動 ○サプライチェーンマネジメントの強化	CSR調達の調査実施率	100%	○	100%
環境	気候変動への対応	○事業所におけるCO ₂ 排出量削減 (スコープ1+2)	スコープ1+2排出量削減率 (FY2021比)	69%削減 (2288t-CO ₂ ; 暫定値)	◎	56%削減※2
	循環型社会への貢献	○水使用量の削減 ○廃棄物の削減 ○包装資材の削減・再生可能資材の利用	環境配慮型包装資材(FSC認証紙)の採用率 (FY2021比)	29.8%	◎	30%
社会	人権・多様性の尊重	○DE&Iの推進 ○ハラスメントの撲滅	女性管理職比率	18.7%	◎	30%
	従業員エンゲージメントと人材育成	○働きがいのある職場づくりとワークライフバランスの実現 ○グローバル人材の育成	育児休業取得率※1	男性100% 女性100%	○	100%
	健康増進・安全衛生	○健康増進プログラム、安全衛生活動の推進	定期健康診断受診率	100%	○	100%
ガバナンス	透明で健全なガバナンスの実現	○役員ダイバーシティ推進	女性取締役比率	20%	○	30%
	コンプライアンスと腐敗防止	○コンプライアンス・プログラムに基づく研修とモニタリング ○腐敗防止の徹底	○ハラスメント研修受講率 ○各国競争法の重大な違反、腐敗に関する法令の重大な違反	○受講率：100% ○違反件数：0件	○	100% 0件
	リスクマネジメントの確立	○事業継続マネジメントの継続的改善 ○情報セキュリティマネジメントの強化	○BCP教育訓練の実施 ○重大な情報漏えい	○実施率：100% ○情報漏えい数：0件	○	100% 0件

※1 分母：事業年度中に配偶者が出産した男性/女性従業員の数、分子：事業年度中に育児休業および育児を目的とした当社独自の休暇制度を利用した男性/女性従業員の数（配偶者の出産時期により、翌事業年度に育児休業を取得する従業員が含まれるため、取得率が100%を超えることがある） ※2 SBTに基づく数値目標

Saving Your Health



EIKEN CHEMICAL CO., LTD.

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。

Appendix

連結貸借対照表

	25年3月期末 (百万円)	26年3月期末 (百万円)	増減		25年3月期末 (百万円)	26年3月期末 (百万円)	増減
現金および預金	9,873	10,943	1,070	営業債務およびその他の債務	8,489	7,460	△1,029
営業債権およびその他債権	11,741	11,399	△342	その他の流動負債	5,886	7,176	1,290
その他の金融資産	0	0	0	流動負債 計	14,376	14,636	260
棚卸資産	8,500	7,991	△509	社債および借入金	3,000	2,650	△350
その他の流動資産	1,416	1,707	291	その他の固定負債	1,397	1,336	△61
流動資産 計	31,532	32,040	508	固定負債 計	4,397	3,986	△411
				負債 合計	18,773	18,622	△151
有形固定資産	22,121	23,338	1,217	資本金	6,897	6,897	0
無形固定資産	670	332	△338	資本剰余金	7,892	7,892	0
投資その他の資産	8,048	6,945	△1,103	利益剰余金	34,700	30,884	△3,816
固定資産 計	30,840	30,616	△224	自己株式	△6,756	△2,242	4,514
				その他の包括利益累計額	505	513	8
資産 合計	62,372	62,657	285	新株予約権	358	89	△269
				純資産 合計	43,598	44,034	436
				負債および資本 合計	62,372	62,657	285

キャッシュ・フロー

(営業)税金等調整前当期純利益4,834、減価償却費2,536、関係会社出資金譲渡益△2,004
 (投資)有形固定資産取得△5,756、連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の譲渡による収入2,074
 (財務)自己株式買取△1,675、配当金支払△1,858、長期借入れによる収入3,000

金額単位：百万円

	25年3月期	26年3月期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	6,033	4,045	△1,988
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,499	△3,423	1,076
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,857	△322	4,535
現金および現金同等物 期末残高	7,640	7,943	303

人的資本の価値向上と組織エンゲージメントの強化

社長キャラバン

全事業所訪問形式で全従業員を対象に実施

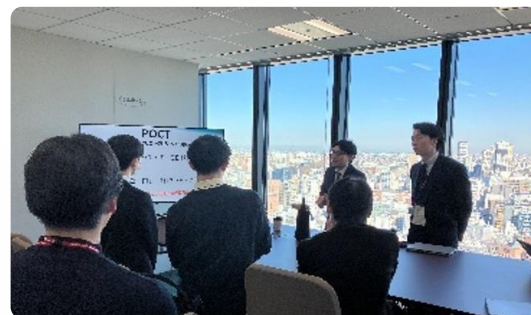
- タウンホールミーティング23回（680名）
経営方針とROIC理解を浸透
- 座談会29回（233名）
現場の実際と課題を把握・経営への反映



オープンコミュニケーションDay

部門横断での対話機会を創出

- 400名超/2日間で参加
 - 各部門の現状と課題の共有
 - テーマ別に多様な部門が意見交換
 - 経営層と従業員との双方向のコミュニケーション



大腸がん検診啓発活動への取り組み



- うんこドリルとの協業による大腸がん検診啓発
- 小学生からがん検診のリテラシーをあげる教育への貢献
- 家庭内での気づきや行動につながることを意識した設計
- 当社が長年携わってきた「検査」の領域を活かした活動

ダウンロード PDF : https://www.eiken.co.jp/uploads/_4.pdf

サステナビリティ関連開示・外部評価

サステナビリティ方針にもとづき、世界の人々の健康を守る企業として事業活動を通じ、「医療」・「環境」・「社会」・「ガバナンス」の社会課題の解決に貢献

✓ 「栄研化学 統合報告書2025」

https://www.eiken.co.jp/uploads/eiken_integrated_report_2025_jp.pdf



✓ 社外からの評価・イニシアチブへの参加等

